

北海道でA型鳥インフルエンザウイルスが 死亡野鳥から検出されました！

韓国に引き続き、北海道で死亡野鳥からA型鳥インフルエンザウイルス（病原性未確定）が検出されました。

ウイルスをもつ渡り鳥が既に日本に飛来しています。

予防対策の点検を行い、不備があれば直ちに改善してください。

【経緯】

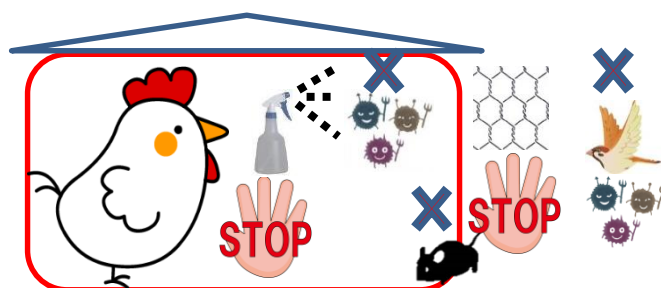
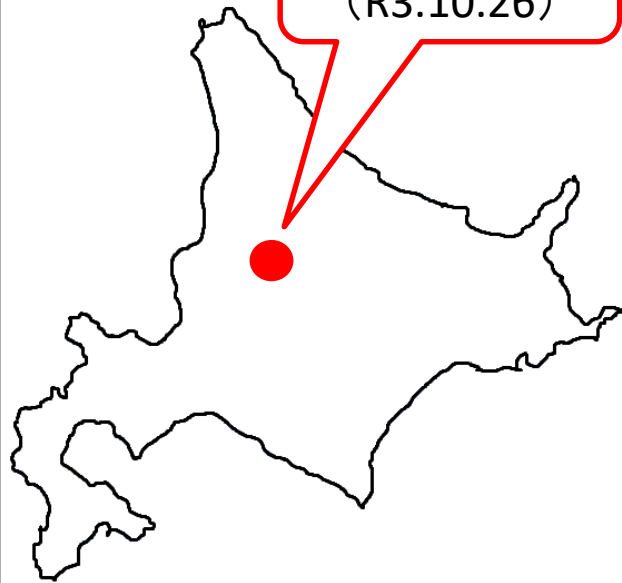
10月26日

- 北海道旭川市でマガモ3羽の死亡個体を回収
- 損傷の少ない1羽で簡易検査実施
→**簡易検査陽性**
- 今後、北海道大学で遺伝子検査を実施予定

【対応】

- 今回の採取地点周辺10km圏内を野鳥監視重点地域に指定し、監視を強化
- 高病原性インフルエンザウイルスが確定した場合は、野鳥サーベイランス「対応レベル2」に引き上げ

確認地点
(R3.10.26)



- 野生動物対策徹底！
- 鶏舎出入口や周辺消毒徹底！
- 対策の点検改善！
- 毎日の健康観察！
- 早期発見、早期通報！